



MSD56-52001 ラゲージウッドデッキ

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ ラゲージウッドデッキをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けはできません、取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種	型式	年式	備考
MSD56-52001	シエンタ	MXPC1#G, MXPL1#G	'22.6 ~	

・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

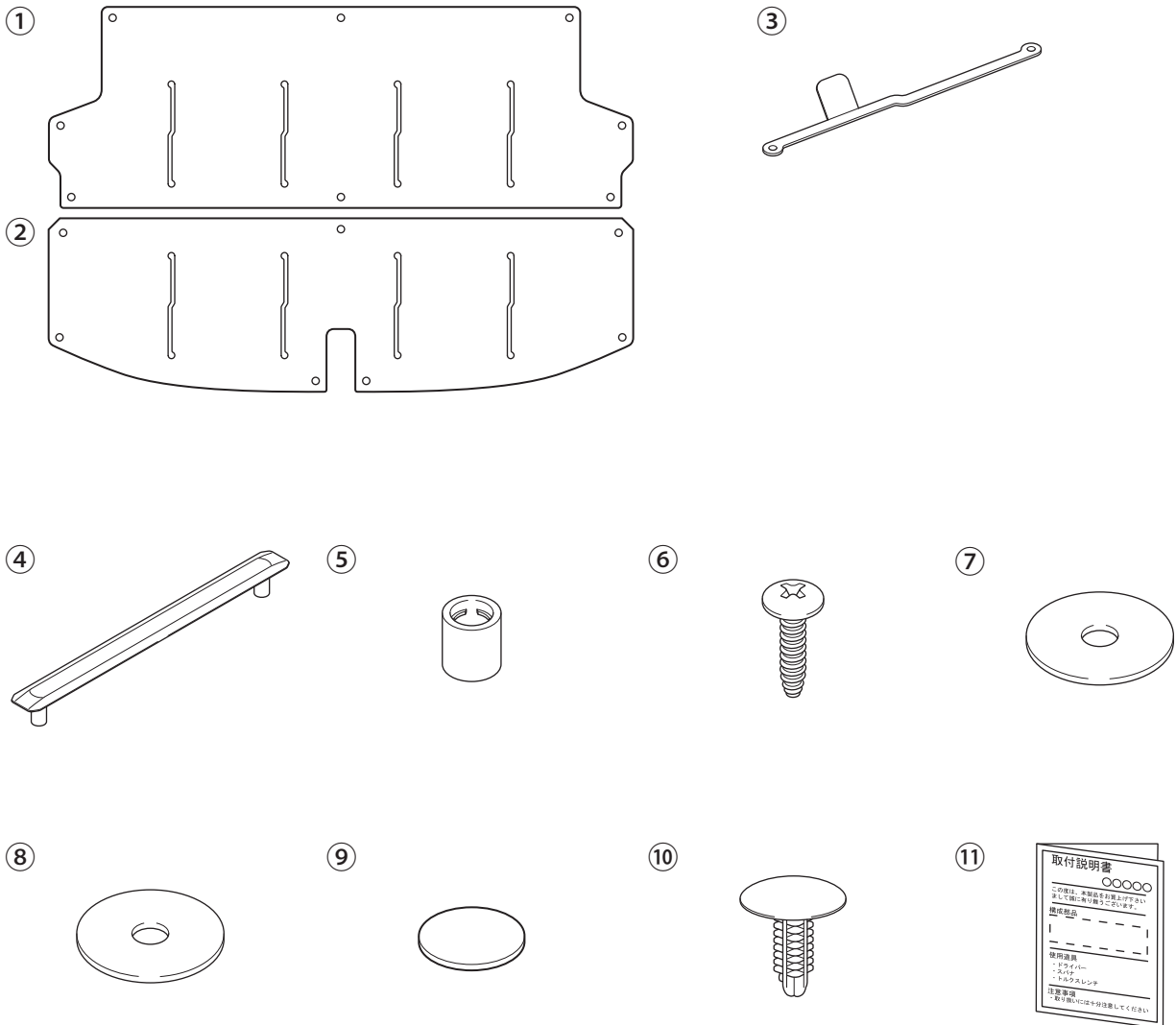


■ 構成部品

No.	品名	品番	個数	備考
①	ボード No.1		1	
②	ボード No.2		1	
③	ゲージ		1	
④	レール		8	
⑤	カラー		16	
⑥	タッピングビス		16	4 × 20
⑦	金属ワッシャー		15	
⑧	樹脂ワッシャー		1	
⑨	目隠しシール		2	
⑩	クリップ		15	
⑪	取付・取扱要領書		1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、および適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、傷付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時の傷付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ 適切な取り付け作業ができなくなるおそれがあるため、直射日光の当たるところで作業、放置しないでください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂ができず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がすと、接着力が低下し再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。低温で接着した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
- ❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が不足した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図……………1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）……………3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図……………4
4. 取付準備、取付要領……………5～16
5. 取付完了後の点検・注意事項……………16

■取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・ニッパー等）・ヤスリ・保護メガネ・千枚通し
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/5.0mm/6.0mm/9.0mm/10.0mm）
- ・ 軍手・保護シート・マスキングテープ・清潔なウエス・ブラシ・掃除機

■保証について

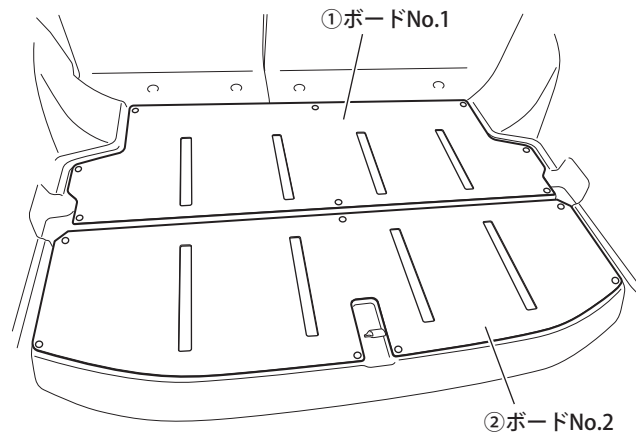
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト <<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

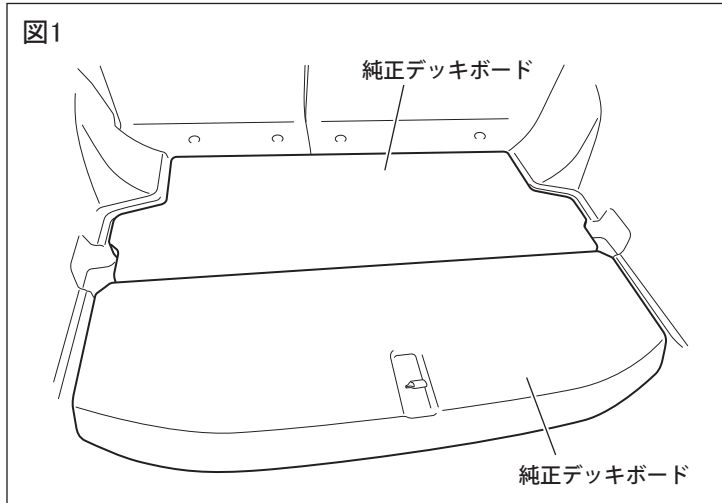
■取付構成図



■ 取付準備、取付要領

□ ラゲージウッドデッキ取付準備

【車両部品の取り外し作業】

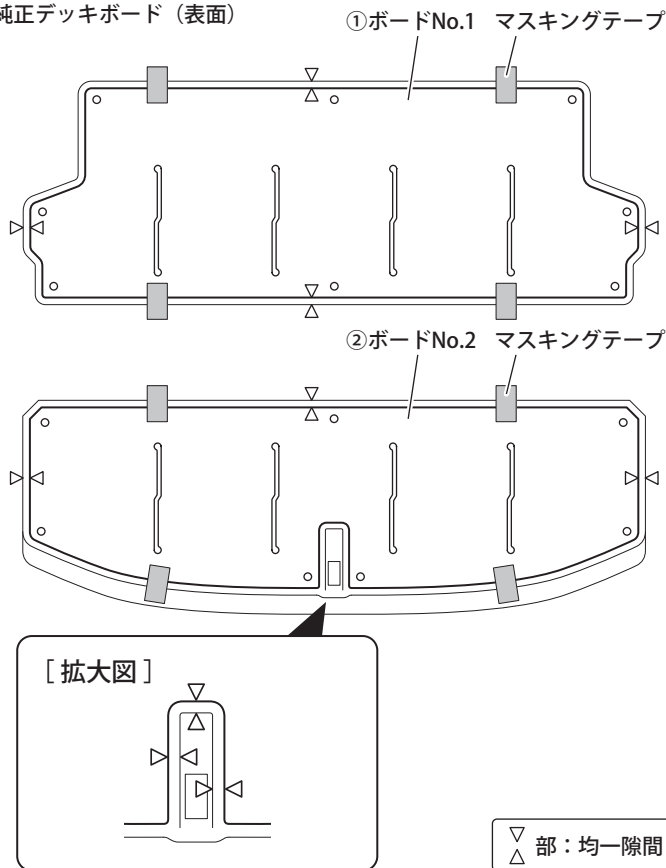


1. 車両ラゲージスペースから純正デッキボードを取り外す。

□ラゲージウッドデッキ取付要領

図2

純正デッキボード (表面)



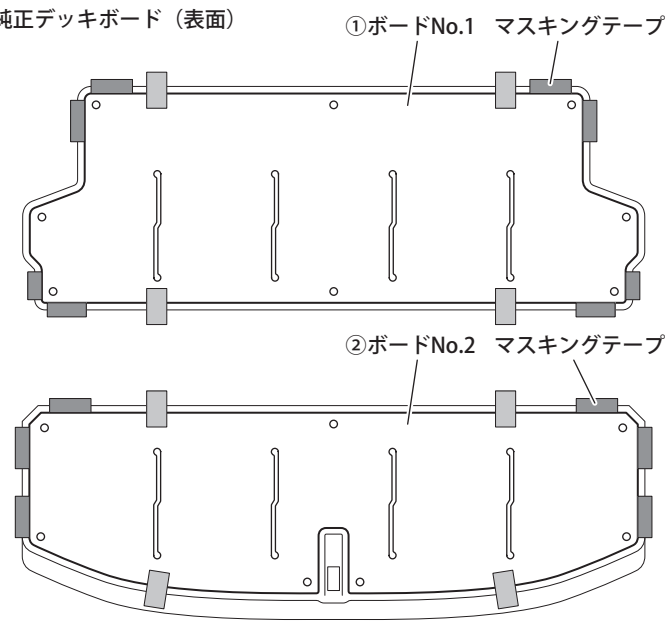
1. 図2のようにそれぞれの純正デッキボード(表面)に①ボードNo.1 および②ボードNo.2を仮あてし、周囲▷◁部の隙間が均一になるように位置を調整して、図2のようにマスキングテープで固定する。(各4ヶ所)

アドバイス

作業は、安定した机の上で作業してください。

図3

純正デッキボード (表面)



2. 図3のように各ボードの四隅にマスキングテープで取り付け位置をマーキングする。(①ボードNo.1:8ヶ所、②ボードNo.2:6ヶ所)

注意

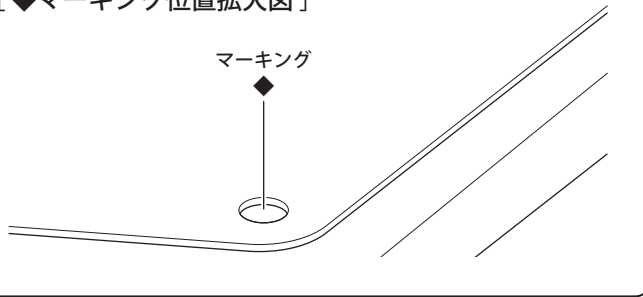
四隅に貼り付けたマスキングテープは、手順21まで剥がさないでください。

図4



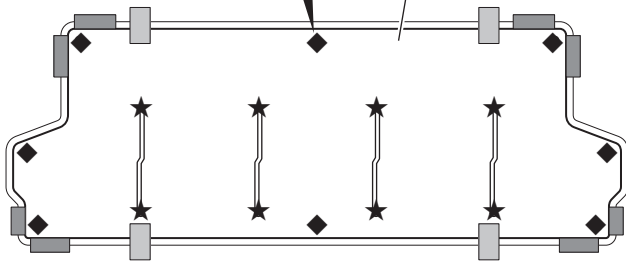
★◆：マーキング位置

[◆マーキング位置拡大図]

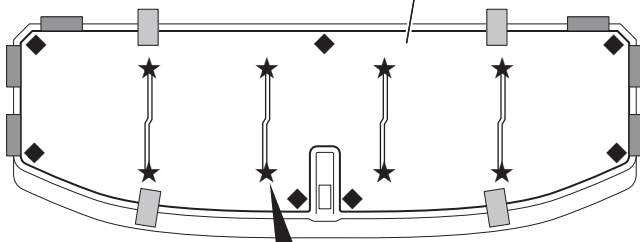


純正デッキボード（表面）

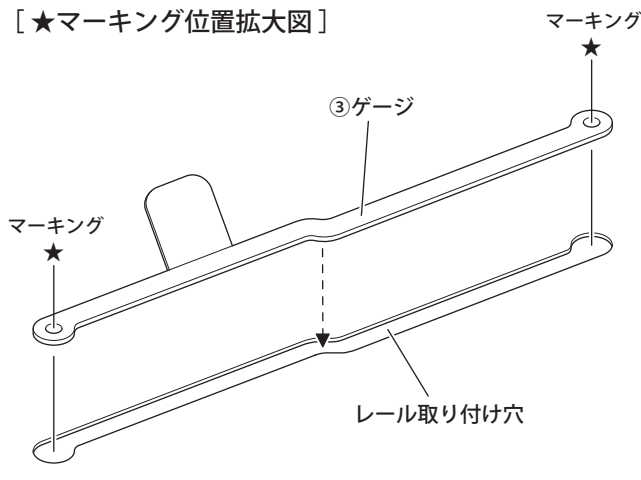
①ボードNo.1



②ボードNo.2



[★マーキング位置拡大図]



3. 図4のように、★印は③ゲージを使用して穴あけ位置をマーキングし、◆印は各ボードの穴中心を目安に穴あけ位置をマーキングする。



アドバイス

マーキングには、水性ホワイトダーマトペン等を使用してください。



注意

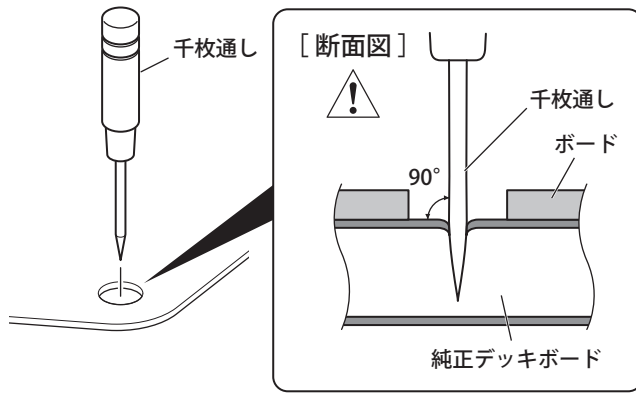
ボードの位置ズレを起こさないよう、注意してマーキングしてください。

図5



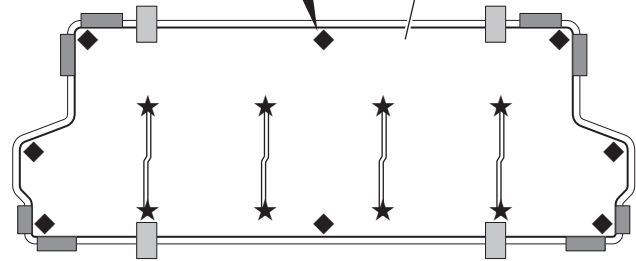
★◆：マーキング位置

[◆マーキング位置拡大図]

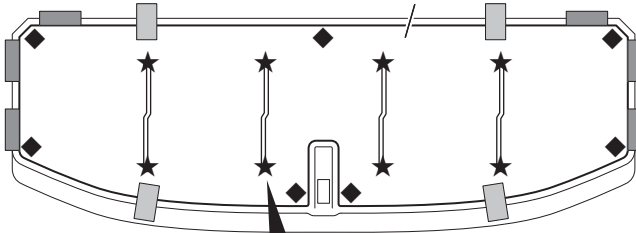


純正デッキボード (表面)

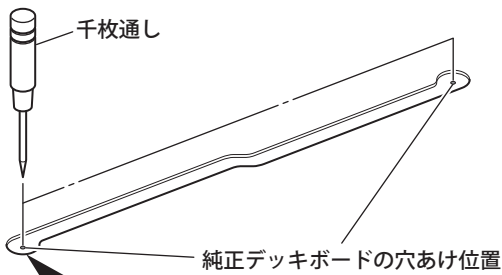
①ボードNo.1



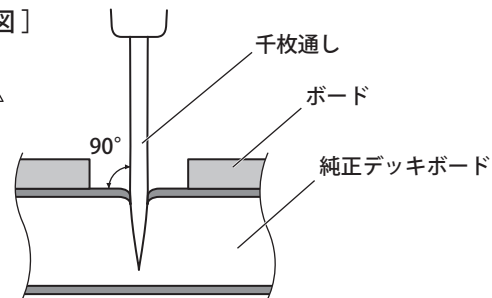
②ボードNo.2



[★マーキング位置拡大図]



[断面図]



4. 図5のように、手順3のマーキングを目安にして、千枚通し等で垂直に下穴をあける。
(31ヶ所)

△注意

ボードの位置ズレを起こさないよう、注意して下穴をあけてください。

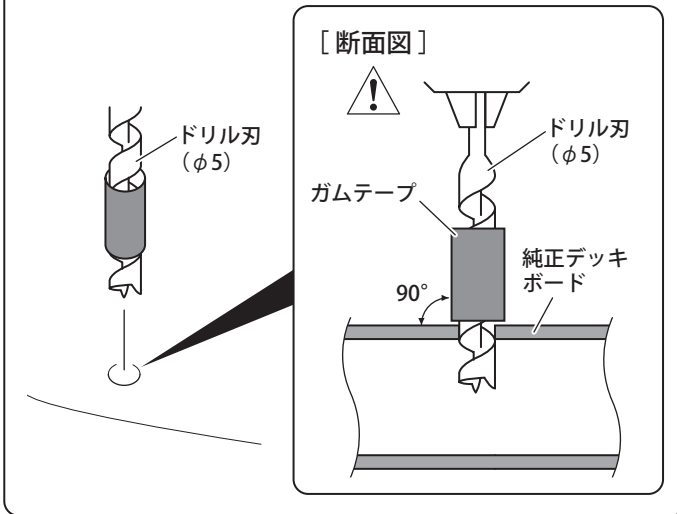
5. 純正デッキボードから各ボードを取り外す。

図6

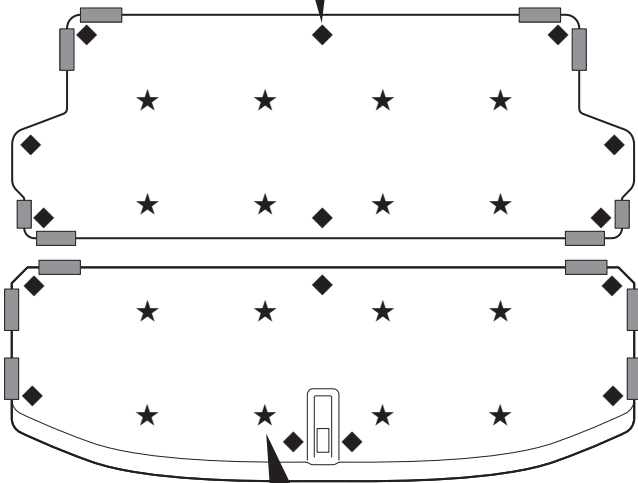


★◆：マーキング位置

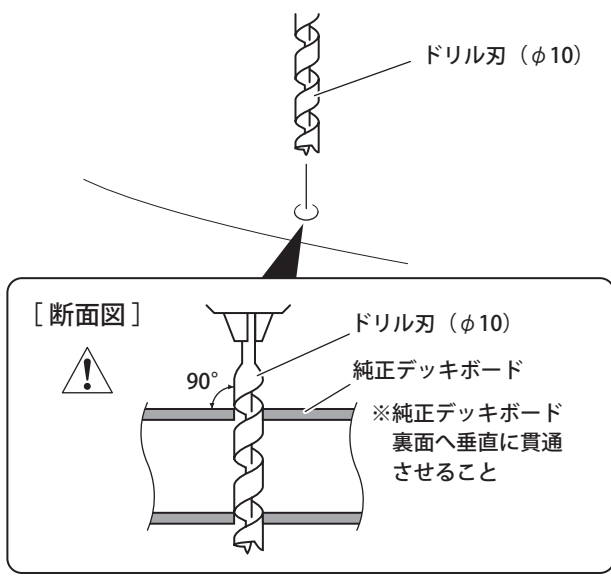
[◆マーキング位置拡大図]



純正デッキボード (表面)



[★マーキング位置拡大図]



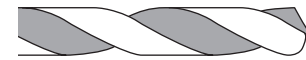
6. 手順4であけた下穴位置に、ドリル刃の種類に応じて下記に従って純正デッキボードに本穴をあける。

◆印の位置：非貫通穴 (表面のみ)

- 木工用 (樹脂用) ドリル刃の場合：φ5



- 金属用ドリル刃の場合：φ3 → φ5

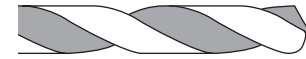


★印の位置：貫通穴

- 木工用 (樹脂用) ドリル刃の場合：φ9

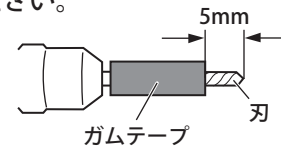


- 金属用ドリル刃の場合：φ3 → φ6 → φ9



△注意

- 作業時は保護メガネを着用してください。
- 非貫通の穴あけ作業はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



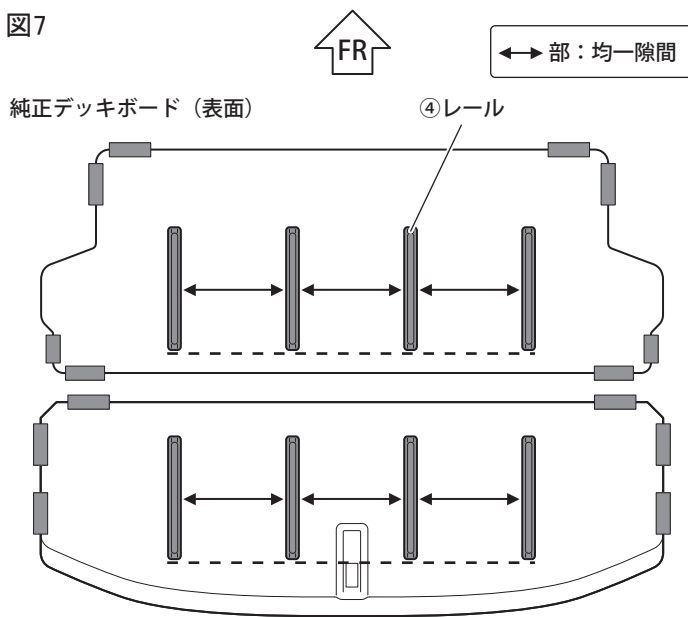
- 貫通穴は、純正デッキボード裏面まで、垂直に貫通させてください。
- 穴を一つあけるごとに、ドリル刃に付着した切粉を除去してください。
- 切粉が純正デッキボード内に落ちると、異音の原因となります。万が一、中に切粉が入った場合は、手順18に従って、取り出してください。

👉アドバイス

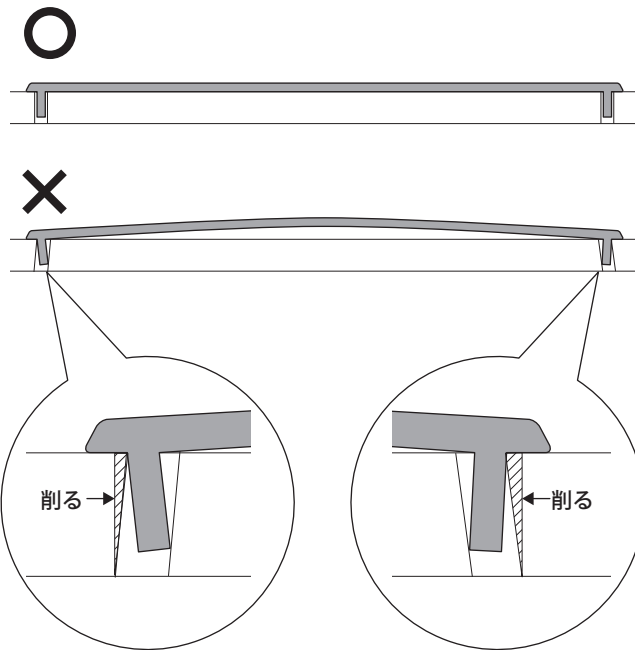
穴あけは、作業性を考慮して木工用 (樹脂用) ドリル刃を使用することをおすすめします。

7. ボード裏面から★印の貫通穴をφ10のドリル刃を使用して、ボードの穴を拡張してください。(16ヶ所)

図7



[断面図]



8. 穴周囲のバリ、切粉が純正デッキボード内に入らないようにニッパーなどで除去する。(31ヶ所)

9. ブラシや掃除機などで、純正デッキボード表面／裏面の汚れ、埃を除去する。

10. 図7のように純正デッキボードを表面に戻し、手順7であけた $\phi 10$ 穴に④レールのボスを差し込み、各レールの間隔が均一になるように調整する。(各4ヶ所)
このときレールが傾くなどして正しく取り付けられない場合は、純正デッキボード表面の $\phi 10$ 穴をヤスリ等で少し削り広げて調整する。

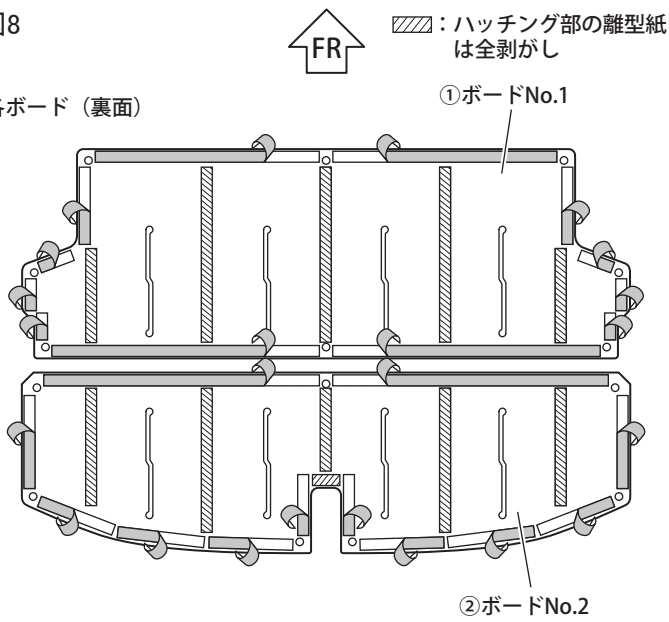
△注意

- $\phi 10$ 穴の調整は慎重に少しずつ行ってください。
- 純正デッキボード裏面から $\phi 10$ 穴の調整が必要な場合は1mm以上削らないでください。④レールが正しく取り付けられなくなるおそれがあります。

11. 純正デッキボードから全ての④レールを取り外す。(各4ヶ所)

図8

各ボード (裏面)



12. 図8のように①ボード No.1 および②ボード No.2 裏面の両面テープの離型紙をめくり、表面に折り返してマスキングテープで固定する。また、ハッチング部分の離型紙は全部剥がす。(①ボード No.1 : 17ヶ所、②ボード No.2 : 16ヶ所)

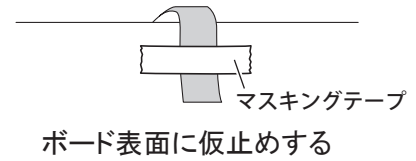
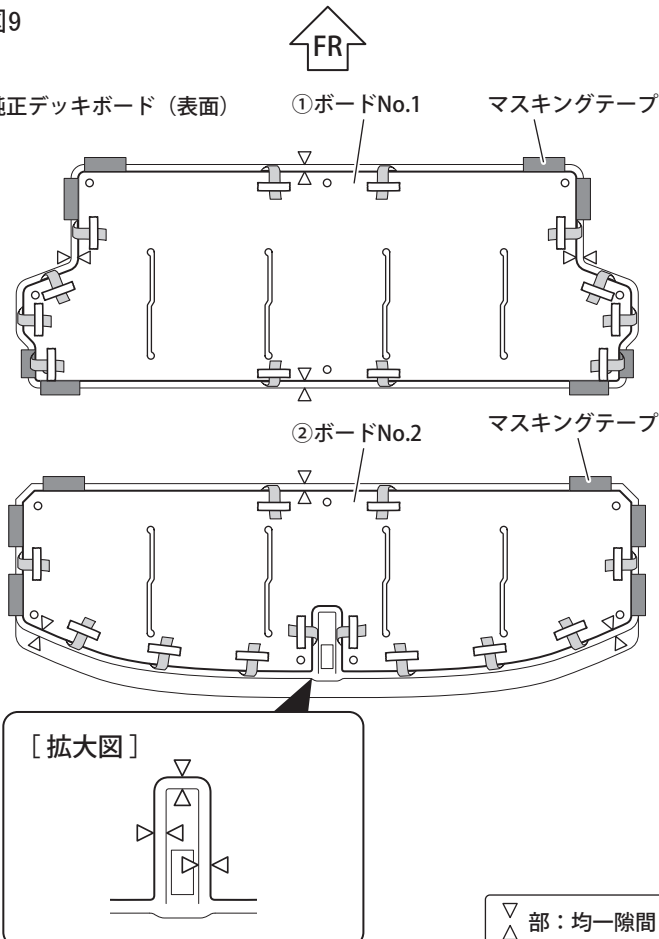


図9

純正デッキボード (表面)



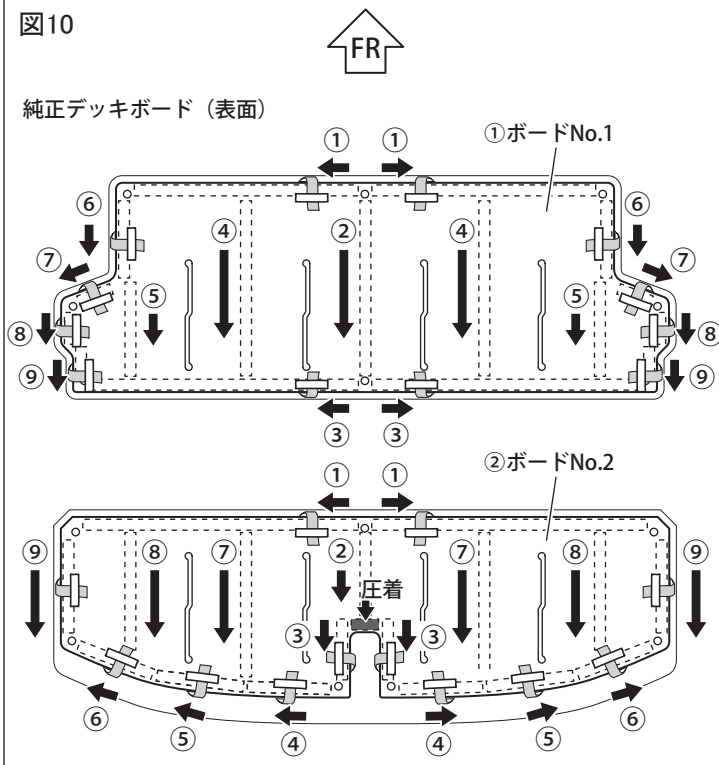
13. 図9のように純正デッキボード (表面) 四隅のマスキングテープを基準に周囲▽△部の隙間が均一になるように位置を調整しながら、①ボード No.1 および②ボード No.2 を取り付け。

△注意

①ボード No.1 および②ボード No.2 の隅の穴に、手順6、7であけた穴が収まっていることを確認してください。ずれている場合は、各ボードの位置を調整してください。

図10

純正デッキボード (表面)



14. ①ボード No.1 および②ボード No.2 を上から手で垂直に押さえ、両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。

△警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。

両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

△注意

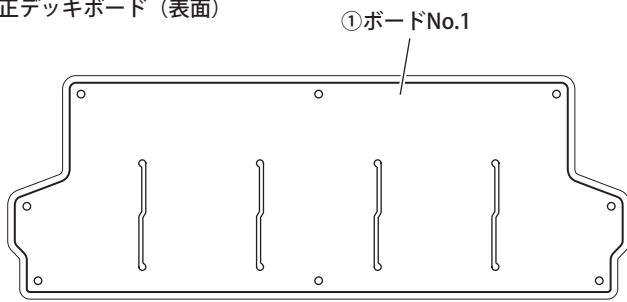
- 両面テープの圧着は、49N (5kgf) 以上の力で行ってください。
- 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙間や浮き、剥がれが発生するおそれがあります。
- ボードの位置ズレを起こさないよう、注意して離型紙を引き抜いてください。

👉アドバイス

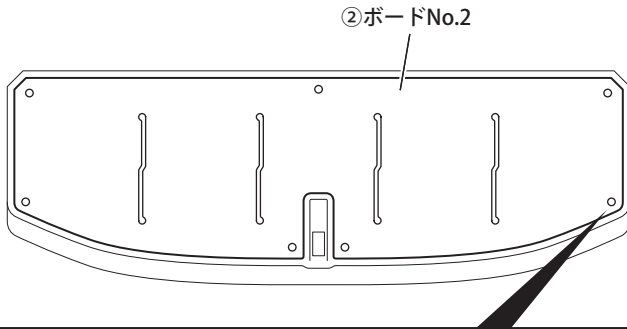
両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

図11

純正デッキボード (表面)

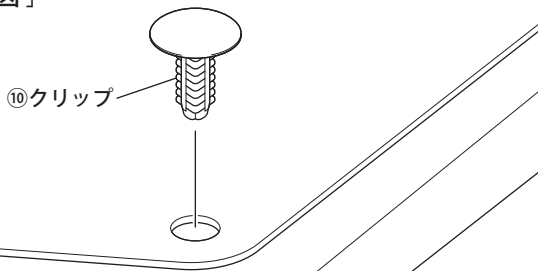


①ボードNo.1



②ボードNo.2

[拡大図]



⑩クリップ

15. ボード No.1 と No.2 の表面の保護フィルムを剥がし、⑩クリップをφ 5 穴に差し込む。(15ヶ所)

△注意

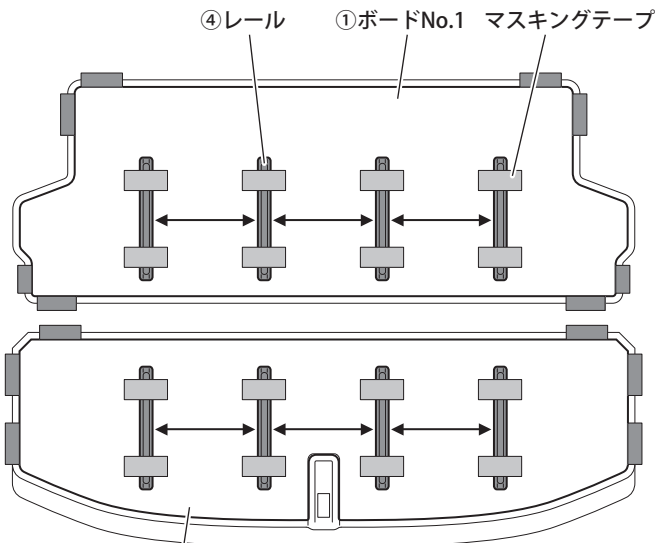
①ボード No.1 および②ボード No.2 の保護フィルムは確実に剥がしてください。保護フィルムを剥がさずにクリップやレールを取り付けると、フィルムを剥がした際にクリップやレールと各ボードの間にフィルムの一部が残るおそれがあります。

👉アドバイス

⑩クリップが、奥まで入り込まないときは⑩クリップをねじ込むように押し込んでください。

図12

純正デッキボード (表面)



④レール ①ボードNo.1 マスキングテープ

②ボードNo.2

↔ 部：均一間隔

16. 図 12 のように④レールのボスをφ 10 穴に差し込む。(各 4ヶ所)
各レールの間隔が均一になるように調整し、マスキングテープで固定する。(各 8ヶ所)

△注意

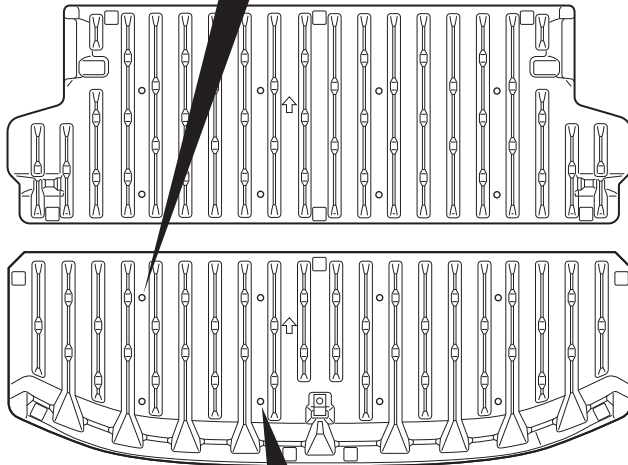
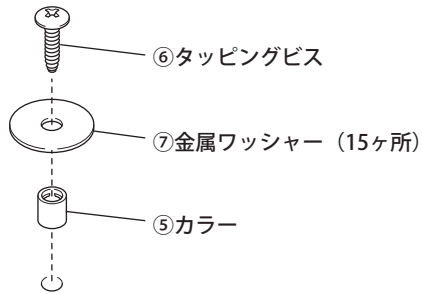
①ボード No.1 および②ボード No.2 の保護フィルムは確実に剥がしてください。保護フィルムを剥がさずにクリップやレールを取り付けると、フィルムを剥がした際にクリップやレールと各ボードの間にフィルムの一部が残るおそれがあります。

図13

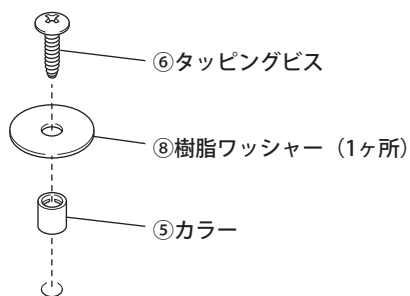


純正デッキボード (裏面)

[拡大図]



[樹脂ワッシャー部 拡大図：1ヶ所]



17. 図13のように純正デッキボードを裏返し、⑦金属ワッシャー (15ヶ所)、⑧樹脂ワッシャー (1ヶ所)と⑤カラーを⑥タッピングビスに取り付け、φ 10の穴に差し込みドライバーで本締めする。(16ヶ所)

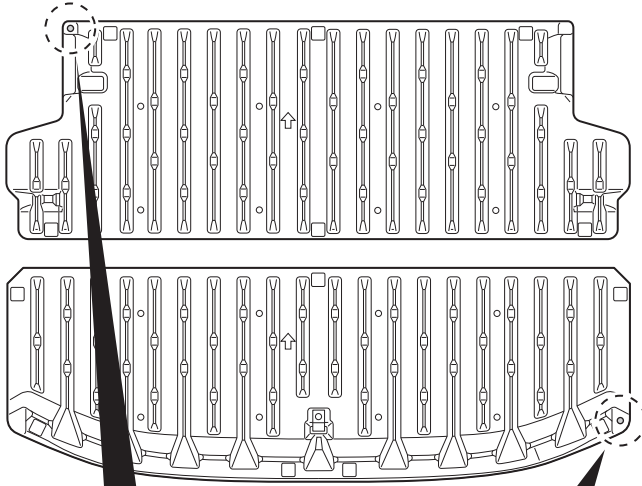
△注意

- ⑤カラーが純正デッキボード内に脱落した場合は、手順18に従って、取り出してください。
- ⑥タッピングビスは強く締め付けすぎないでください。各部品が破損するおそれがあります。

図14

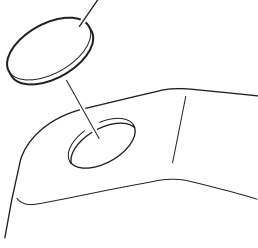


純正デッキボード（裏面）



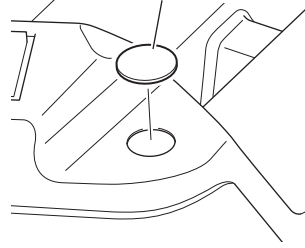
[拡大図]

⑨目隠しシール



[拡大図]

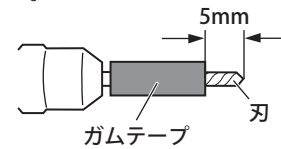
⑨目隠しシール



18. 切粉や⑤カラーが、純正デッキボード内に入った場合は、図14の拡大図の位置に下穴→φ3→φ6→φ10の穴を開けてから穴の位置を下にしてボードを振って取り出す。また、開けた穴のバリも除去する。

△注意

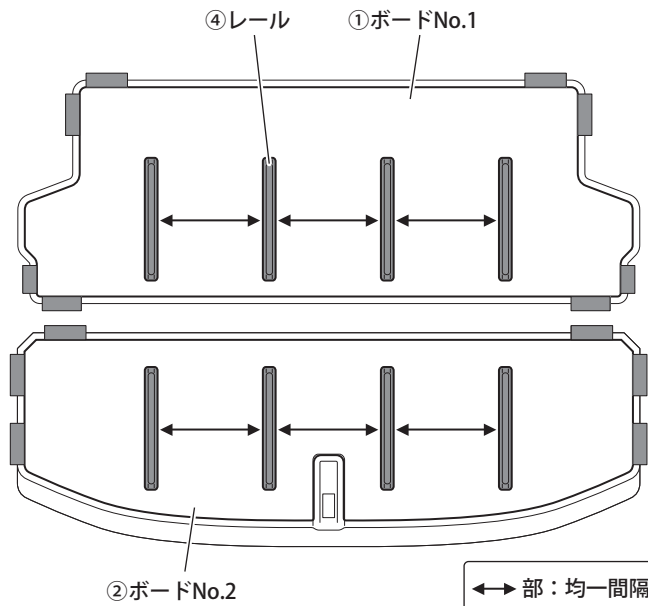
- 切粉や、カラーが純正デッキボード内に残ったままになると、異音の原因となります。必ず、全て取り出してください。
- 穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



19. 手順18で開けた穴を隠すために、図14のように純正デッキボードに⑨目隠しシールを脱脂してから貼り付ける。

図15

純正デッキボード (表面)



20. 純正デッキボードを表面に戻し、④レールを固定していたマスキングテープを全て剥がす。(各8ヶ所) このとき、レールにズレがある場合は、⑥タッピングビスを少し緩めて調整し、再度締め直してしっかりと固定する。

21. 純正デッキボードの四隅のマスキングテープを全て剥がし、ボードの取り付けがしっかりと行われているか確認してボードの両面テープ貼付け部を再圧着する。

22. 完成したラゲージウッドデッキの汚れ、埃を除去し、車両に戻す。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両およびラゲージウッドデッキに傷が付いていないことを確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

モデリスタ商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>